ふじやまだより

第12号
発行 2003年
12月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

ふじやま農園の収穫祭

農芸部会 遠山　隆

11月15日、開園して丁度9箇月、ふじやま農園の収穫祭には大勢の市民の方々が参加されました。

「収穫を感謝し、喜びを分かち合おう！」という部会員の気持ちは大きなパワーとなって、焼き芋のカマづくり、農園の野菜を使った豚汁、子どもさんたちの収穫体験、収穫物のお楽しみ抽選会、花壇の花の種頒布などと欲張った内容に膨らみました。

子どもさんたちの生き生きした動きを、ほほ笑ましく見守るご家族、またスタッフとの間にも心温まる触れ合いが生まれました。

（次ページに続く）

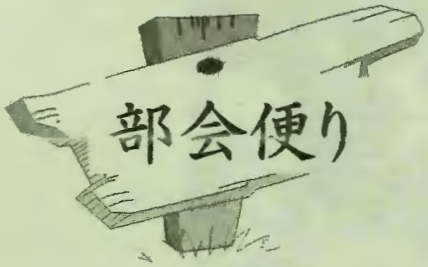
（前ページから続く）

〈受付で〉
「おばあちゃんは花が好きだから花の種をもらっていこうっ！･･･」：一番に並んだ少年。
「子どもと分けていただきますから･･･」：食券が残り少なの時の行列している若い母親。
来年きれいな花が咲くようにと願い、人の優しさを感じたことでした。

〈炭焼き広場の石焼き芋〉
「これみんなここの農園のお芋？」、「こんなに沢山焼いて大変だったでしょう！」
「子どもの頃を思い出しますね、焼き芋は懐かしいですねー･･･」

〈畑でさつま芋・里芋を掘って〉
「わー、でっかい！」、「わー、きれいないろ！」、「おうー、つながってるぞー！」
「○○ちゃん、お芋を持ってこっちを向いて」：カメラを向けるおばあちゃん、お父さん。
「シャベルが入らないよ！　よしっ、四人で掘ろう！」：子どもたちは四方から大シャベルで掘る。
「わー、沢山ついてる！」：小芋・孫芋が30個ほどもついてる里芋にびっくりしている子どもたち。
蔓の間にカマキリが姿を潜め、慌てて飛び出してきた瞬間は、子どももカマキリもびっくりのほほ笑ましい瞬間でした。　綿の実も弾けて祝う収穫祭　　そのえ

元気な弾んだ声・情景は私どもには何にも代えがたく励みになるものでした。ささやな収穫祭ではありましたが、ご協力いただいた関係の皆さまに心から感謝いたします。



工芸部会

木版画年賀状教室を終わって

工芸部会　宗森　英夫

９月から始まった年賀状木版画教室が１２月６日に終わり、参加者の全員が作品を完成しました。最近は、写真やパソコンを使って美しい賀状が簡単に作れるようになり、手間のかかる手刷りの木版画など時代遅れのような感じもありますが、手作りの良さがあり、愛好家も増えております。他の人たちとは一味違った賀状を作る楽しみがあります。

ハガキ判の小さな画面なので、あまり込み入った作品はできませんが、趣味として木版画を始めてみようという人には、良いきっかけになります。図柄も昔ながらの干支や松竹梅、富士山などでも取り組めますし、身近な風景や好きな草花など、その人なりのものが画題になります。

描く→彫る→刷るという３段階を経て味のある作品になります。

古民家歴史部会

古民家障子貼り

古民家歴史部会　木島　健司

11月22日（土）　事業部の面々男女15名が集い、古民家年末行事の一環として障子の張替えを行いました。

初めての方や、何十年ぶりの方など多士済々で賑やかに作業が進行し、予定時間を一時間ほどオーバーしましたが、無事に三十二枚の障子全部を張り終えました。

苦労話や自慢話に花を咲かせ昼食後解散しました。

里山部会

竹は草か？木か？

里山部会　永田隆一

竹は木でしょうか、草でしょうか。
子どもたちに聞くと「大きくなる（高さ１０m以上になる）から木だ」と答えます。大人に聞くと「年輪がなく、毎年大きくなっていくものではないから草だ」と答えます

竹は何十年に一度花を咲かせ枯れてしまいます。
花が咲くと枯れてしまうのは草の特徴です。
普通の木は桜のように毎年花を咲かせても、なかなか枯れません。
細胞が木質化して、硬く丈夫になる点では樹木と共通点があります。かっては植物学の分類では、イネ科のタケ亜科としてまとめられていますしたが、イネ科に組み入れることにもかなり無理があり、現在ではタケ科として扱っているようです。いずれにしても、植物の全てを木か草かに分けること自体に無理があり、どちらかにしないといけないというものではないと思います。

農芸部会

農芸部会　遠山　隆

収穫祭を終えて
16年度の事業を話し合いました！

収穫祭とその反省会を終えて、余韻さめやらぬままに今年度を振り返りながら来年度の花壇、畑の作付けについて話し合いました。
この自然豊な環境・古民家のある公園で活動できることを喜びにして、以下のような姿勢で皆さまとともに楽しむ花や野菜づくりにいそしんでまいります。

1. 四季折々の行事に係わる花や野菜・シイタケの栽培
2. 体験学習の場、自然の循環システムを学ぶ場
3. カブトムシやクワガタの幼虫を飼いながらの堆肥づくり
4. 花や野菜は来園される方々との触れ合いの場

市民の皆さまにとって身近な親しめる公園にしたいと願っています。
どうぞふじやま公園にご家族・友人誘い合わせてお出かけくださいますようお待ちしています。

いろり守の会

いろり守の会では会員募集中です

平成16年1月の**いろりの焚火の日**
第1日曜（1／4）、第2水曜（1／14）、第3日曜（1／18）、第4木曜（1／22）、鏡開きの日（1／11）

入会希望の方は上記いずれかの日の１０：００～１２：００に公園母屋のいろり端までお出掛けください。詳細はその際説明させていただきます。

催し物　ご案内

教室名	開催日	定員	参加費	締切日
木版画 （全6回）	2月～7月の毎月第1土曜日 13時～16時	１２名	無料	1月30日（金） 必着

（1）定員　　１２名（応募者多数時抽選）
（2）応募要領　往復ハガキに必要事項を書いて、本郷ふじやま公園へ

物づくりボランティア講師募集

公園内工作棟で、来年度、物づくりの講師をボランティアで行っていただける方を募集しています。応募期限は１月一杯。お問い合わせは公園事務所まで、お願いいたします。

いろり辺雑記

・弓道場から歩いて来ました。カラスの寝床だとばかり思っていたけどステキな竹林を抜けて落ち着いた雰囲気の古民家に心静かになりました。
これが私の故郷だ　さわやかに風も吹いている　ああ　おまえは何をしてきたのだと年増の低い声もする。　　T

・ここに　こうして　じっと座っていると木立の中を駆け抜ける風が木の葉をゆらし、幾百年の歳月を超えて命の続きを伝えてくれます。いろりに座り、竹炭の香りにつつまれ、木の柱に身を寄せると涙が溢れてきます。ここには自然と共に生きてきた人間のぬくもりがあります。どうか大切に保存して、何時までも存在しますように。富士山もすばらしい。　　A.M

お知らせ

・休館日	：1月7日(水)
・クリーンアップ作業日	：1月6日(火)、20日(火)
・年末・年始休館日	：12月29日～1月3日まで(平成16年は1月4日より開館しています。)

古民家ゾーン　ご利用案内

◎開館時間：9:00～17:00
◎休館日　：毎月第1水曜日（祝日の場合はその翌日）
◎入館料　：無料

◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷１－２０
Tel:896-0590　Fax:896-0593

◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802　Fax:712-6260

広報部会員募集中